



# 一般財団法人 南西地域産業活性化センター

2026（令和8）年 5月19日

“南西地域のシンクタンク”

NANSEI SHOTO INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

〒900-0015 那覇市久茂地 3-15-9（アルテビル那覇 2F） 電話（098）861-2180

各位

## 景気ウォッチャー4月調査

### 沖縄地域の結果

弊財団は、内閣府が主管する景気ウォッチャー調査を取りまとめている三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社より再委託を受けて沖縄地域の調査を行っております。

この度、4月調査の結果をまとめました。調査の概要は以下の通りです。

1. 物価高や中東情勢の影響がみられたものの、観光需要を中心に景気は好調だったことから、現状判断 DI 値は「50.8」と好況。
2. 物価高や中東情勢による先行きの不透明感から、2～3 か月先の先行き判断 DI 値は「47.8」と4年8か月ぶりに50を下回る。

詳しい報告につきましては別紙「景気ウォッチャー調査(沖縄地域)2026年4月調査」をご覧ください。

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

・担当：嘉手納

問い合わせ先：電話 098-861-2180（ファクシミリ 098-869-0661）

E-mail kadena-t@niac.or.jp

報道各社

内閣府において公表された 2026 (令和8)年 4 月  
「景気ウォッチャー調査」の調査結果をもとに、  
弊財団にて、沖縄地域の結果の概要を取りまとめ  
ましたので、皆様に報告いたします。

一般財団法人南西地域産業活性化センター

会長 本永 浩之

## 景気ウォッチャー4月調査（季節調整値） 沖縄地域の結果

### 1. 沖縄地域の現状

- 4月調査の現状判断 DI 値は 50.8 となりました。物価高や不安定な中東情勢の影響もあり前月比 0.7 ポイント減少したものの、13 か月連続で景気判断基準値の 50 を上回り好況が続いております。
- 全体的な傾向として好況と判断される理由としては、旺盛な観光需要によるものです。
- 以下にコメントの一部を整理しています。

(◎：良、○：やや良、□：不変、▲：やや悪、×：悪)

分野	業種	判断	判断理由
家計動向 関連	観光型ホテル	◎	・ 4月の来客数及び稼働率が前年を上回っている。
	スーパー	○	・ 物価高による選別消費はみられるものの、季節行事に伴う動きがより活発化している。生活必需品には慎重な一方で、清明祭や入学・就職祝いといった節目の行事には、高単価な重箱や関連商品の売行きが好調となっている。行事食を中心とした需要が景気を下支えしている。
	住宅販売会社	□	・ 仲介物件への問い合わせや来客数は、3か月前と比べて大きな変化はみられない。また、物件価格の高騰により検討層の動きは慎重であるが、実需や投資需要は一定数存在しており、案内数も安定している。
	通信会社	▲	・ 販売数が減少しており、購入のため来店する客も少ない状況である。
企業動向 関連	食料品製造業	○	・ 一般消費が増加している。また、ホテルや土産品は引き続き好調に推移している。
	建設業	□	・ 原油及びナフサの調達に懸念がある。資材の受注停止が発生しており、価格についても見通しが立たない状況である。
雇用関連	職業安定所	□	・ 求人数は前年同月比で減少したが、求人者から人手不足の相談は多い。
	求人情報誌 製作会社	▲	・ 4月はゴールデンウィーク直前であり、教育に時間を割けないホテルや飲食サービス業の求人募集は減少傾向にある。新年度採用も3月で終了しており、その影響も出ている。

### 2. 沖縄地域の先行き

- 先行き判断 DI 値は 47.8 となり、2021年8月以来4年8か月ぶりに50を下回り、不況の見通しとなりました。
- 全体的な傾向として、物価高や中東情勢による不透明感から、先行きを不安視するコメントが多くみられました。
- 以下にコメントの一部を整理しています。

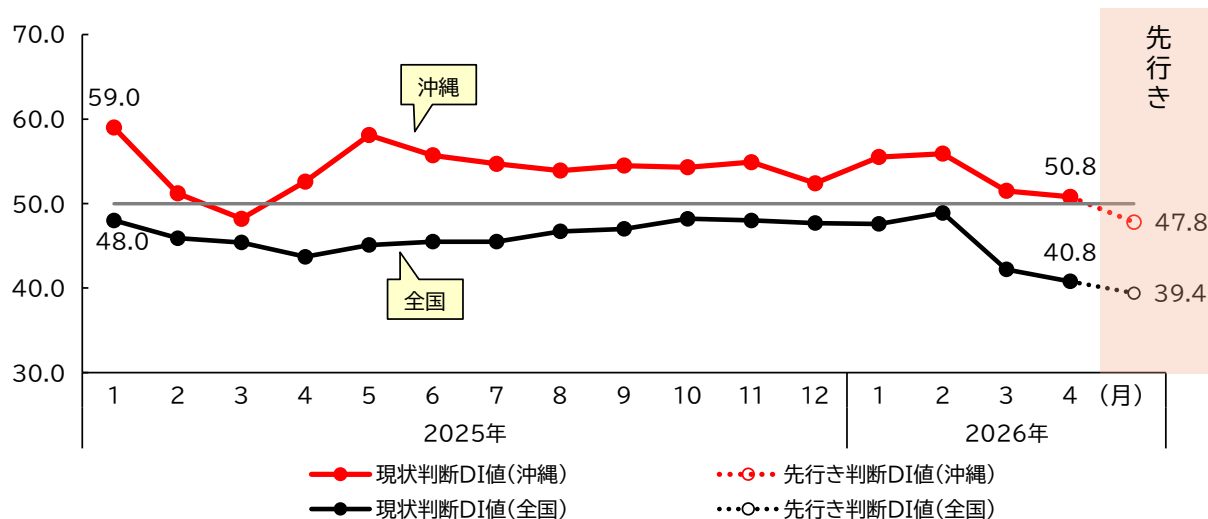
(◎：良、○：やや良、□：不変、▲：やや悪、×：悪)

分野	業種	判断	判断理由
家計動向 関連	乗用車販売店	□	・中東情勢の影響により、客の購買行動に変化が出ないか心配である。
	観光型ホテル	▲	・夏休みの予約状況が芳しくない。国内線の燃油サーチャージ開始などで外出控えムードが広がることを懸念している。
	スーパー	×	・中東情勢の影響により包材関連が軒並み値上がりしており、1.2～1.5倍程度の価格上昇となっている。また、値上げにより入手困難なものもあり、余計な在庫を抱えることもある。電気・ガスの値上げや商品仕入価格が高騰する一方で顧客は節約志向に走っているため、明るい材料がないとみている。
企業動向 関連	建設業	▲	・中東情勢の影響で資材不足が起きている。また、資材価格高騰により、見積額上昇の影響も発生しているため、早期の解決に期待したい。
	窯業土石業	×	・中東情勢の影響による原材料価格の高騰及び供給停止・受注制限が製造に大きく影響し、受注工事も延期及び中止が懸念される。
雇用関連	人材派遣会社	▲	・人手不足や物価上昇など、景気が良くなる見込みがない。

### 3. 所感

- 先行きが不透明な中東情勢の影響により、様々な素材の基礎となるナフサ関連の供給不安が報道などでも目立つようになりました。今後は物価高ばかりでなく、原材料調達時の制約による供給不安にも注意が必要で、今月の先行きDI値が不況を示したのも、その表れだと推察されます。当財団としても、物価高や原材料不足が県経済にどのような影響を及ぼすのかを注視していきたいと思えます。

図 沖縄と全国の現状判断DI値の推移と先行き判断DI値（季節調整値）



出典：内閣府「景気ウォッチャー調査」より NIAC 作成

※「先行き判断DI値」は、調査月から2～3か月先の景気の見通し。